

平成31年1月吉日

関係各位

宮城県仙台二華中学校・高等学校
校長 山内 明樹
(公印省略)

**アクティブラーニング・探究活動等に関する研修会
～スーパーグローバルハイスクール・国際バカロレアの実践例をもとに～**

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動につきましては、日頃より格別のご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本校は平成26年度より5年間、文部科学省よりスーパーグローバルハイスクール（SGH）事業の指定を受け、「北上川／東北地方、メコン川／東南アジアをフィールドとした世界の水問題解決への取り組み」を研究テーマとして研究開発に取り組んでまいりました。

また、文部科学省が普及・拡大を推進している国際バカロレア（IB）認定校においても、探究活動を中心とした授業が行われております。

そこでこのたび、東北地方で唯一 IB 認定校であります仙台育英学園高等学校とともに、次期学習指導要領のもと、その重要性がさらに認識されておりますアクティブラーニング及び探究活動等に関する研修会を開催することとしました。第一回研修会では、探究活動をメインにしております。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、多くの皆様にご参加をいただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

- 1 研修テーマ 「SGH 課題研究及び国際バカロレア コア科目の概要と教育効果」
- 2 主催 宮城県仙台二華中学校・高等学校、仙台育英学園高等学校
- 3 後援 文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム事務局
- 4 期日 平成31年2月16日（土） 13:00～16:30
- 5 会場 宮城県仙台二華中学校・高等学校
- 6 対象 主催校教職員及び教育関係者

7 日 程

12:30~13:00	受付
13:00~13:15	開会行事
13:15~14:15	SGH 課題研究の運営方法と身につく力 概要説明／生徒による活動紹介／身につく力／質疑応答 担当：仙台二華中学校・高等学校
14:15~15:15	国際バカロレア コア科目の運営方法と身につく力 概要説明／生徒による活動紹介／身につく力／質疑応答 担当：仙台育英学園高等学校
15:15~16:15	SGH と IB の親和性について（予定） 担当：文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム AC(AirCampus)ファシリテーター 熊谷 優一 氏 (大阪市立水都中学校・高等学校)
16:15~16:30	閉会行事 ※閉会行事終了後、個別相談等

※17:00～ 懇親会（希望者）

8 参加申込

- (1) 申込期限 平成31年2月8日（金）
- (2) 申込方法 別添の参加申込書に必要事項をご記入の上、
メール(hatakeyama-da898@td.myswan.ed.jp)または FAX にて申してください。

9 その他

校地内には駐車スペースがありません。公共の交通機関でお越しください。

10 問合せ・連絡先

宮城県仙台二華中学校・高等学校 教諭 小金 聡
〒984-0052 宮城県仙台市若林区連坊一丁目4番1号
Tel : 022-296-8101 Fax : 022-296-8103

参 考

国際バカロレア ディプロマ・プログラム「コア科目（次の3つの必修要件を履修）」

- ・課題論文（EE: Extended Essay）：履修科目に関連した研究分野について個人研究に取り組み、成果を4,000語（日本語の場合は8,000字）の論文にまとめる。
 - ・知の理論（TOK: Theory of Knowledge）：「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問いを探究する。批判的思考を培い、生徒が自分なりのものの見方や、他人との違いを自覚できるよう促す。
 - ・創造性・活動・奉仕（CAS: Creativity/Activity/Service）：創造的思考を伴う芸術などの活動、身体的活動、無報酬で自発的な交流活動といった体験的な学習に取り組む。
- *参照：「国際バカロレア認定のための手引き」（平成27年9月文部科学省大臣官房国際課）